

温泉分析書

源泉名 : 日置川温泉 渚の湯
 湧出地 : 和歌山県西牟婁郡白浜町日置1013-25
 番号 : 温泉第947号
 泉質 : アルカリ性単純温泉
 泉質分類 : アルカリ性低張性温泉
 温泉分析申請者 : 住所 和歌山県西牟婁郡白浜町1600番地
 氏名 白浜町長 立谷 誠一

湧出地における調査及び試験成績

(イ) 調査名 : 温泉中分析に係る調査
 分析機関の名称 : 和歌山県環境衛生研究センター(登録分析機関 登録番号 第1号)
 所属及び試験者 : 水質環境グループ 中山真理 大畑木の実
 (ロ) 調査及び試験年月日 : 平成21年7月15日
 (ハ) 知覚的試験 : 無色澄名にて、微弱硫化水素臭、無味である。
 (ニ) pH値 : 10.1
 (ホ) 泉温 : 34.4 °C (調査時における気温 32.5°C)
 (ヘ) 湧出量 : 195 L/分 (動力揚湯 30.0馬力)

試験室における試験検査

(イ) 分析機関の名称 : 和歌山県環境衛生研究センター
 所属及び試験者 : 水質環境グループ 楠山和弘 大畑木の実
 (ロ) 分析終了年月日 : 平成21年8月12日
 (ハ) 知覚的試験 : 無色澄名にて、無臭、無味である。
 (ニ) 密度 : 0.9985 g/cm³ (20.0°C/4.0°C)
 (ホ) pH値 : 10.1
 (ヘ) 蒸発残留物 : 0.236 g/kg (110°C)

試料1kg中の成分、分量及び組成

(イ) 陽イオン

成分	含有量(mg)	当量(mval)	比率(mval%)
水素イオン	H ⁺ 0.1未満	—	—
ナトリウムイオン	Na ⁺ 69.4	3.02	98.37
カリウムイオン	K ⁺ 0.8	0.02	0.65
マグネシウムイオン	Mg ²⁺ 0.1未満	—	—
カルシウムイオン	Ca ²⁺ 0.6	0.03	0.98
マンガンイオン	Mn ²⁺ 0.1未満	—	—
鉄(II)イオン	Fe ²⁺ 0.1未満	—	—
アルミニウムイオン	Al ³⁺ 0.1未満	—	—
陽イオン計	70.8	3.07	100

(ロ) 陰イオン

成分	含有量(mg)	当量(mval)	比率(mval%)
フッ化物イオン	F ⁻ 4.1	0.22	5.29
塩化物イオン	Cl ⁻ 10.6	0.30	7.21
水酸化物イオン	OH ⁻ 1.9	0.11	2.64
硫化水素イオン	HS ⁻ 0.3	0.01	0.24
チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻ 0.1	0.00	0.00
硫酸イオン	SO ₄ ²⁻ 0.6	0.01	0.24
炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻ 17.7	0.29	6.97
炭酸イオン	CO ₃ ²⁻ 70.5	2.35	56.49
メタケイ酸水素イオン	HSiO ₃ ⁻ 65.2	0.85	20.43
メタホウ酸イオン	BO ₂ ⁻ 0.9	0.02	0.48
陰イオン計	171.9	4.16	100

(ハ) 遊離成分(非解離成分)

成分	含有量(mg)	当量(mmol)
メタケイ酸	H ₂ SiO ₃ 0.1未満	—
メタホウ酸	HBO ₂ 0.1未満	—
非解離成分計	0.1未満	—

(ニ) 遊離成分(溶存ガス成分)

成分	含有量(mg)	当量(mmol)
二酸化炭素	CO ₂ 0.1未満	—
硫化水素	H ₂ S 0.1未満	—
溶存ガス成分計	0.1未満	—

(ホ) 総硫黄(再濁)

成分	含有量(mg)	内S分(mg)
硫化水素イオン	HS ⁻ 0.1未満	0.3
チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻ 0.1	0.1
硫化水素	H ₂ S 0.1未満	—
総硫黄	S	0.3

(ヘ) その他微量成分

成分	含有量(mg)
銅イオン	Cu ²⁺ 0.01未満
鉛イオン	Pb ²⁺ 0.05未満
総ヒ素	As 0.001未満
総水銀	Hg 0.0005未満
カドミウム	Cd 0.05未満

(ト)

溶存物質(ガス性のものを除く)計	0.243g/kg
------------------	-----------

(チ)

成分総計	0.243g/kg
------	-----------

※浴用の禁忌症

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患

※浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

※この温泉は飲用できません。

ご入浴にあたってのお願い

1、次に該当する方の入浴はお断りいたします。

- ①伝染性疾病にかかっている方
- ②泥酔している方
- ③暴力団関係者
- ④身体に刺青のある方
- ⑤医師から入浴を禁じられている方

2、次のことをお守りください。

- ・石鹸等で身体をきれいに洗ってから浴槽にお入りください。
- ・浴槽内にタオルを浸さないでください。
- ・浴槽内及び浴槽の縁では身体を洗わないでください。
- ・他のお客様に迷惑をかける恐れのある行為はご遠慮ください。特に小さなお子様連れの方は十分ご注意ください。
- ・浴場での飲食及び喫煙はご遠慮ください。
- ・下痢症状のある方は入浴を差し控えてください。
- ・10歳以上の男女の混浴は禁止します。
- ・使用済みのカミソリを放置しないでください。
- ・盗難防止のため、ロッカーは必ず施錠し、かぎを紛失しないようお持ちください。
- ・貴重品は貴重品ロッカーをご利用ください。
- ・盗難事故について、当浴場では一切の責任をおいかねます。

3、入浴上の注意

- ・温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は1日当り2回ないし3回までとすること。
- ・温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわりの湯あたり又は浴場反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- ・入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
- ・入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
- ・入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれ起こししやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。
- ・入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- ・次の疾患については、原則として高温浴(42°C以上)を禁忌とする。
 高度の動脈硬化症 高血圧症 心臓病
- ・熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- ・食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- ・飲酒しての入浴は絶対にお止め下さい。